

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		児童保育委託事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		学校教育の充実						事業の効果		保育を希望する児童に対して、おおむね保育の実施ができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		99 %		考え方		保育委託数／利用申込み数		実数		88／89				
		○ 政策		○ 法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		児童の保護者の希望に合わせて保育の委託を実施する必要がある。												
		その他		該当する欄に○																		
独自の拡充		ある		○ ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		適当でない		該当する欄に○								
								上記の理由		保育を希望する児童に対して、保育所での保育を提供する必要がある。												
事業の目的		保育を必要とする児童に対して保育を提供する。 町内児童が利用する保育施設に対する保育委託を行う。						成果向上の余地		○ 有		無		該当する欄に○								
事業の内容		委託により保育を実施する。						上記の理由		利用希望者の要望に寄り添い、町内に限らず町外施設の情報を提供するなど、保育環境の充実に努める。												
事業の対象		小坂町に住んでいる就学前児童 小坂町に在住する児童が希望する保育所(広域入所含む)						社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○								
								上記の理由		保護者が働いている家庭が多く、保育の必要度が高まっており、保育所へ保育を委託するという面で行政が関わる必要がある。												
事業費																						
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		47,453	千円	51,273	千円	50,441	千円	上記の理由		利用相談、利用申込みの際に児童保護者の希望を聞いている。福祉課まると支援班から妊産婦の保育ニーズに関する情報を聞いている。										
		県支出金		19,697	千円	24,176	千円	23,829	千円													
		地方債		0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		その他特定財源		0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由												
		一般財源		34,457	千円	32,465	千円	32,607	千円													
	歳入合計		101,607	千円	107,914	千円	106,877	千円	総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		0	千円	0	千円	0	千円	評価説明		今後も、利用希望者や福祉課、町内保育施設と連絡を密にし、保育委託の実施に努める。また、必要に応じて、育児休暇の延長制度についても保護者に説明を行うことに努める。										
		役務費		0	千円	0	千円	0	千円													
		委託料		98,693	千円	104,750	千円	103,777	千円	学識経験者の意見等												
		工事請負費		0	千円	0	千円	0	千円													
		その他		2,914	千円	3,164	千円	3,100	千円													
	歳出合計		101,607	千円	107,914	千円	106,877	千円	保護者が希望する保育所に入所できるよう、年度途中も含めた受入体制の確保等あつせん。調整に努められたい。また、待機児童が発生することのないよう取り組まれたい。													

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		保育対策等促進事業				内 部 評 価										
教育目標に基づく基本方針		学校教育の充実				事業の効果		障害児加配が必要な児童の保育、施設改修・運営費に対する補助、在宅保育をしている者に対し給付を行うことで、保育対策を促進することができた。								
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	83	%	考え方	補助事業数		実数	5/6			
		○ 政策	法令等							実績数/当初予定数						
実施主体		○ 教育委員会(町)		国 県		上記指標とした理由	保育実施者が行う保育環境づくりを支援する必要がある。									
		その他		該当する欄に○												
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○		
事業の目的		延長保育、障害児保育など多様なニーズに対応する。町内保育所が行う保育補助者雇用、施設改修、運営費に対して補助する。在宅で児童を保育している保護者への経済的支援を行う。				上記の理由		多様な保育を実施するための人件費、施設改修・運営費等に対して補助することは、より良い保育環境づくりに有効である。								
						成果向上の余地								有		○ 無
事業の内容		①障害児保育の実施と加配職員の賃金の一部を補助 ②町内保育所が行う保育補助者雇用、施設改修、運営費に対して補助 ③在宅で児童を保育している保護者へ給付金を給付				上記の理由										
事業の対象		・小坂マリア園 ・児童の保護者(在宅育児支援給付金)				社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○				
						上記の理由		多様な保育の必要度が高まっており、これに応じるために必要となる人件費や施設改修費等に対する行政支援が求められている。								
事 業 費																
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○		
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由	入所判定会議で保育所から加配が必要な児童の状況を報告してもらっている。					
		県支出金		0	千円	0	千円	0	千円							
		地方債		0	千円	0	千円	0	千円							
		その他特定財源		0	千円	0	千円	0	千円							
		一般財源		12,169	千円	23,764	千円	37,112	千円							
	歳入合計		12,169	千円	23,764	千円	37,112	千円	総合評価		A	○ B	C	D	E	該当する欄に○
	歳出内訳	需用費		0	千円	0	千円	0	千円	評価説明	今後も、保育所からの要望を聞いた上で、補助事業の実施に努める。 在宅児童に対しても、給付金給付事業の実施を通して支援に努める。					
		役務費		0	千円	0	千円	0	千円							
		委託料		0	千円	0	千円	0	千円							
		工事請負費		0	千円	0	千円	0	千円							
		その他		12,169	千円	23,764	千円	37,112	千円							
		歳出合計		12,169	千円	23,764	千円	37,112	千円							
	学識経験者の意見等															
	保育従事者確保が困難な状況下、町内唯一の民間保育所が将来にわたって持続的かつ安定的に保育を提供できるよう、保護者のニーズを反映した事業推進に引き続き努められたい。															

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		保育所等物価高騰対策事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		学校教育の充実						事業の効果		副食費に対して補助することで、保育所の安定経営と保護者負担の軽減に寄与することができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	100	%	考え方	補助事業数 実施事業数／予定事業数	実数	1／1								
		○ 政策		法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由	保育実施者が行う保育環境づくりを支援する必要がある。													
		その他		該当する欄に○																		
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		適当でない		該当する欄に○								
		上記の理由		急激な価格高騰等に対応して支援することは、保育体制と保育環境の維持に有効である。																		
事業の目的		食材料費の価格高騰の影響を踏まえ、町内保育所に対して当該経費の一部を補助することで、安定経営を支援し保護者の負担軽減を図る。						成果向上の余地		有		○ 無		該当する欄に○								
事業の内容		価格高騰分として、保育所に対して3歳児以上児童1人あたり6,660円を補助						上記の理由														
事業の対象		・小坂マリア園						社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○								
								上記の理由		保護者の就労等により保育の必要度が高まっており、保育体制と保育環境の維持についても行政に関わる必要がある。												
事 業 費														町民のニーズ		反映している		○ 反映していない		該当する欄に○		
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算																
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由		物価高騰対策の要否に関する調査等は実施していない。補助額等は、市中の価格高騰状況を考慮している。										
		県支出金		335	千円	163	千円	0	千円													
		地方債		0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		その他特定財源		1,159	千円	164	千円	0	千円	上記の理由												
		一般財源		0	千円	0	千円	0	千円													
	歳入合計		1,494	千円	327	千円	0	千円	総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		0	千円	0	千円	0	千円	評価説明		今後も、市中の価格高騰状況を考慮し、適正な保育体制と保育環境の維持に必要な支援に努める。										
		役務費		0	千円	0	千円	0	千円													
		委託料		0	千円	0	千円	0	千円	学識経験者の意見等												
		工事請負費		0	千円	0	千円	0	千円													
その他		1,494	千円	327	千円	0	千円	食料品価格等物価高騰の影響を受けた保護者または事業者に対し、必要な支援を実施することで当事者の負担軽減が図られるよう、国・県の動向を注視したうえで事業推進に当たりたい。														
歳出合計		1,494	千円	327	千円	0	千円															

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		外国語指導助手招致事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		夢や希望、志を育む教育の充実						事業の効果		外国語指導助手と学校生活をともにするなかで、言語や文化の違い、共通する想いがあることなどを児童生徒が認識できる環境をつくることができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ		法令等		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		94	%	考え方	秋田県学習状況調査(中2英語) 小坂中平均点/秋田県平均点		実数	(非公表)						
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		毎年、数値で評価できるものとして、県調査対象における最高学年(中2)の英語力を指標とした。												
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		適当でない		該当する欄に○								
事業の目的		言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図る姿勢と能力を育成する。						上記の理由		英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の活用が重視されており、小学校の外国語活動も含めたALTの活動が有効である。												
事業の内容		小中9年間を通してネイティブによる英語授業を実施する。						成果向上の余地		○ 有		無		該当する欄に○								
事業の対象		小・中学生						上記の理由		国際理解教育推進やグローバルな人材育成に向け、AKITA INAKA SCHOOLとの交流も学校行事として取り入れるよう働きかけたい。												
社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○		上記の理由		進学、就職はもとより、社会活動においても外国語(英語)を用いたコミュニケーション能力を求められている。												
事業費																						
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由		まちづくりアンケートにより住民意見を聴取している。											
		県支出金	0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○							
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由													
		その他特定財源	0	千円	0	千円	0	千円	総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
		一般財源	4,794	千円	4,259	千円	5,619	千円	評価説明		今後も、英語によるコミュニケーション能力を活用した思考力・判断力・表現力等を育成できる環境づくりに努める。											
	歳出内訳	需用費	25	千円	0	千円	0	千円	学識経験者の意見等													
		役務費	0	千円	0	千円	0	千円														
		委託料	0	千円	0	千円	0	千円	ALTを通じた外国語活動や英語授業を始め、日常生活において外国人と接する機会が育まれている町の特性を踏まえ、CIR(国際交流員)と連携し、国際理解教育の推進やグローバルな人材育成を養われたい。加えて、学習成果を町民に披露できる場の創設を検討されたい。													
		工事請負費	0	千円	0	千円	0	千円														
		その他	4,769	千円	4,259	千円	5,619	千円														
歳入合計		4,794	千円	4,259	千円	5,619	千円															
歳出合計		4,794	千円	4,259	千円	5,619	千円															

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		学校生活サポート事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		特別支援教育の充実						事業の効果		障害等により支援を必要とする児童生徒について、通常学級をベースとした学校生活における不安や戸惑いを軽減することができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	100	%	考え方	支援員配置人数 ／支援対象者の在籍学級数		実数	6／6							
		○ 政策		法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由	学級単位で授業等が実施されることから、支援対象者在籍学級数に対する支援員配置状況を把握する必要がある。													
		その他		該当する欄に○																		
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○								
		上記の理由		児童生徒の状況や保護者の意向を考慮し、障害等の有無にかかわらず、可能な限り共に教育を受けられるよう配慮する必要がある。																		
事業の目的		障害等により学校生活における支援を必要とする児童が、可能な限り障害のない児童と共に教育を受けられるよう配慮する。						成果向上の余地		有		○ 無		該当する欄に○								
事業の内容		特別支援教育支援員(学校生活サポーター)を配置し、適切な指導と必要な支援を行う。						上記の理由														
事業の対象		小学生						社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○								
		事業費						上記の理由		通常学級に在籍する児童生徒の8.8%が学校生活等における特別支援が必要とする調査結果(R4文科省)が公表されており、適切な対応が求められる。												
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		保護者の意向、専門機関の検査結果を基に、教育支援委員会において支援方法を検討している。										
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円														
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由												
		一般財源		12,737 千円		15,617 千円		17,398 千円														
	歳入合計		12,737 千円		15,617 千円		17,398 千円		総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		0 千円		0 千円		0 千円		評価説明		今後も、特別な支援を必要とする児童生徒が、可能な限り障害をもたない児童生徒と共に教育を受けられる環境づくりに努める。										
		役務費		0 千円		0 千円		0 千円														
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円		学識経験者の意見等												
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円														
その他		12,737 千円		15,617 千円		17,398 千円																
歳出合計		12,737 千円		15,617 千円		17,398 千円		学校生活や学習に特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にある現状を踏まえ、一人一人の教育的ニーズに寄り添ったサポートを実践するとともに、支援員の雇用確保及び研修機会充実に努められたい。														

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		教育助成事業						内 部 評 価																	
教育目標に基づく基本方針		教育支援の充実						事業の効果		小中学生に対する学習支援、ICT活用による校務省力化等実施することで教育環境の充実を図ることができた。															
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と 考え方		104		%		考え方		秋田県学習状況調査(中2の5教科) 小坂中平均の計/秋田県平均の計		実数		(非公表)					
		○ 政策		法令等																					
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		毎年、数値で評価できるものとして、県調査対象における最高学年(中2)5教科の定着度を指標とした。															
		その他		該当する欄に○																					
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である				適当でない		該当する欄に○									
事業の目的		小・中学校及び教育環境等の充実により、児童生徒の学力向上と教諭の指導力向上を図る。						上記の理由		児童生徒の学力向上を実現するためには、学習定着度に応じた指導の実践と指導に適した環境づくりが必要である。															
事業の内容		学力、学習環境等の向上に資する調査、学習教室、校務省力化のほか、令和3年度からは、学校におけるICT活用を推進するため支援人員を配置。令和6年度より、高校生等を扶養する世帯の経済的負担軽減を図るため、一人当たり原則5万円を給付した。						成果向上の余地		有		○		無		該当する欄に○									
事業の対象		小坂小・中学校の児童生徒及び高校生等扶養世帯						上記の理由																	
事業の背景との適合		○ 有				無		該当する欄に○																	
上記の理由		児童生徒が未来を切り拓いていく力を身に付け、自ら問題を主体的に解決することができるよう、指導の改善・充実による学力向上が求められている。																							
事業費												町民のニーズ		○ 反映している				反映していない		該当する欄に○					
上記の理由		まちづくりアンケート、各種委員会において住民意見を聴取している。																							
コスト改善の余地		有		○		無		該当する欄に○																	
上記の理由												総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
評価説明		学習定着度の検査のみならず、アンケートを実施して児童生徒一人ひとりについての理解と対応、学級の状態把握に役立てていく。																							
学識経験者の意見等																									
教育支援充実に対するこれまでの成果が指標として顕著に現れており、引き続き教育環境の充実を図ることで、児童生徒の学力及び教諭の指導力向上に資するよう事業推進に当たられたい。																									
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円																	
		県支出金		1,518 千円		0 千円		0 千円																	
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円																	
		その他特定財源		2,992 千円		7,179 千円		10,747 千円																	
		一般財源		10,114 千円		12,866 千円		6,820 千円																	
	歳入合計		14,624 千円		20,045 千円		17,567 千円																		
	歳出内訳	需用費		453 千円		400 千円		430 千円																	
		役務費		460 千円		349 千円		888 千円																	
		委託料		9,366 千円		8,954 千円		8,682 千円																	
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円																	
その他		4,345 千円		10,342 千円		7,567 千円																			
歳出合計		14,624 千円		20,045 千円		17,567 千円																			

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		スクールカウンセラー配置事業						内 部 評 価									
教育目標に基づく基本方針		教育支援の充実						事業の効果		児童生徒や保護者への相談対応のほか、不登校傾向がみられる児童生徒の状況に応じてカウンセラーが関わることで相談体制を充実することができた。							
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	60	%	考え方	不登校傾向児童生徒数(9月調査) カウンセラー対応者数／不登校傾向者数				実数	3／5
		○ 政策		法令等													
実施主体		教育委員会(町)		国		○ 県		上記指標とした理由	不登校傾向には児童生徒を取り巻く環境が影響していると想定され、児童生徒及び保護者が抱える事情等を理解するうえでカウンセラーの関わりが有効である。								
		その他		該当する欄に○													
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段	○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○				
事業の目的		児童生徒や保護者等の抱える悩みを受け止め、学校における教育相談体制の充実を図る。						上記の理由	教育相談は、児童生徒の身近な場所において一元的に行われるべきものであり、不登校傾向や問題行動等の予防、早期発見・対応に有効である。								
								成果向上の余地									有
事業の内容		秋田県事業によるスクールカウンセラーを配置し、悩みを抱えている若しくは不登校傾向にある児童生徒や保護者へのカウンセリングを行う。						上記の理由									
事業の対象		小坂小・中学校の児童生徒及び保護者(家族)						社会背景との適合	○ 有		無		該当する欄に○				
		事業費						上記の理由	いじめや不登校などの問題行動等は依然として教育上の大きな課題であり、児童生徒の悩みに対応する教育相談体制が求められている。								
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ	反映している		○ 反映していない		該当する欄に○				
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由	不登校傾向など児童生徒の心の状態と関わる教育上の課題が生じており、相談体制の充実が必要である。							
		県支出金	0	千円	0	千円	0	千円									
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地	有		○ 無		該当する欄に○			
		その他特定財源	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由								
		一般財源	0	千円	0	千円	0	千円									
	歳入合計		0	千円	0	千円	0	千円	総合評価	A	B	○ C	D	E	該当する欄に○		
	歳出内訳	需用費	0	千円	0	千円	0	千円	評価説明	今後も教育相談体制の充実、関係機関と連携した対応に努める。県によるカウンセラー配置が継続されており、町費による追加配置を当分の間休止する。							
		役務費	0	千円	0	千円	0	千円									
		委託料	0	千円	0	千円	0	千円	学識経験者の意見等								
		工事請負費	0	千円	0	千円	0	千円									
		その他	0	千円	0	千円	0	千円	当事者の心の在り様と様々な問題が複雑に絡みあっている背景を踏まえ、カウンセリングを必要とする児童生徒及び保護者に対し、心のケア等相談しやすい環境づくりに努めるとともに、関係機関と連携した相談体制の充実を推進されたい。								
	歳出合計		0	千円	0	千円	0	千円									

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		奨学資金貸付事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		教育支援の充実						事業の効果		経済的理由が修学を困難にしている者の負担を軽減することで、教育の機会均等と人材育成に貢献することができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	100	%	考え方	新規の貸与決定者数 ／新規の貸与希望者数				考え方	2 / 2					
		○ 政策		法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由	経済的理由による修学困難者に対する支援であることから、希望者数に対する貸与者数を把握する必要がある。													
		その他		該当する欄に○																		
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○								
事業の目的		経済的な理由で修学困難な町民の子弟を対象に、無利子の奨学資金を貸与し、勉学の奨励を図る。						上記の理由		上級学校進学に伴う家計負担を軽減し、修学希望の実現を支援するうえで、奨学金貸与が有効である。												
								成果向上の余地										○ 有		無		該当する欄に○
事業の内容		義務教育終了後、上級学校に在学し、経済的理由で修学困難な者に無利子の奨学資金を貸与する。						上記の理由		貸与希望者数は毎年変動するが、貸与基準等を満たしながら予算上の制約により貸与できないケースが生じないよう配慮する必要がある。												
事業の対象		小坂町民の子弟						社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○								
								上記の理由		経済的理由による修学困難者に対する奨学措置は、教育基本法(第4条)においても、地方公共団体に求められている。												
事 業 費																						
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		反映している		○ 反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		奨学資金制度に関する調査等は実施していないが、例年、利用希望者から貸与金額・償還期間等々の意見を聞いている。										
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円														
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		その他特定財源		4,505 千円		2,263 千円		4,980 千円		上記の理由												
		一般財源		0 千円		0 千円		千円														
	歳入合計		4,505 千円		2,263 千円		4,980 千円		総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		0 千円		0 千円		0 千円		評価説明		今後も、奨学金貸与による修学支援の継続に努める。										
		役務費		0 千円		0 千円		0 千円														
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円		学識経験者の意見等												
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円														
その他		4,505 千円		2,263 千円		4,980 千円																
歳出合計		4,505 千円		2,263 千円		4,980 千円		経済的理由により進学機会が損なわれることのないよう、貸与基準を満たす希望者に対する支援継続に努められたい。加えて、卒業後の町内定住促進のため、返還額の一部助成制度拡充も検討されたい。														

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		通学バス運行事業						内 部 評 価															
教育目標に基づく基本方針		学校教育の充実						事業の効果		児童生徒の学校活動(部活動含む)に合わせた車両運行により、児童生徒及び保護者の通学における負担を軽減することができた。													
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		91		%		考え方		スクールバス(月～金)登校便 有人運行便数 / 総運行数		実数		186 / 204			
		○ 政策		法令等																			
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		学校活動に合わせた運行を実施し、経路・時刻が利用しやすい運行であるか否かを把握する必要がある。													
		その他		該当する欄に○																			
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である				適当でない		該当する欄に○							
事業の目的		遠距離通学する児童生徒用の送迎車両を運行し、児童生徒と保護者の負担を軽減する。						上記の理由		通学バス運行区間は民間バス路線の空白地帯であり、保護者による送迎困難な児童生徒の通学に対応するうえで有効である。													
事業の内容		①スクールバスを準備し、七滝地区と学校間を運行(業務委託)する。 ②十和田湖地区と学校間で通学用車両を運行(業務委託)する。						成果向上の余地				有		○ 無		該当する欄に○							
事業の対象		①七滝地区から通学する小学生 ②十和田湖地区から通学する小・中学生						上記の理由															
事業費								社会背景との適合		○ 有				無		該当する欄に○							
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		上記の理由		民間バス路線の廃止、夫婦共働き、高齢者免許返納などから、行政による児童生徒の通学手段の確保が求められている。													
事業費の推移		歳入内訳		歳入内訳		歳入内訳		町民のニーズ		○ 反映している				反映していない		該当する欄に○							
		国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		通学バス運行について、保護者から意見を聴取している。											
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		○ 有				無		該当する欄に○					
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		①現在運行中の車両をワゴンタイプへ変更可能か検討。 ②令和6年度末で十和田湖地区からの通学者がいなくなった。											
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
		一般財源		9,562 千円		9,089 千円		6,065 千円		評価説明		学識経験者の意見等 保護者の意見を尊重した上で、コスト改善に向け検討するとともに、安全・安心な通学手段の提供に努められたい。											
		歳入合計		9,562 千円		9,089 千円		6,065 千円															
		歳出内訳		需用費		984 千円		571 千円		1,136 千円													
				役務費		21 千円		21 千円		22 千円													
				委託料		8,532 千円		8,463 千円		4,752 千円													
				工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円													
				その他		25 千円		34 千円		155 千円													
		歳出合計		9,562 千円		9,089 千円		6,065 千円															

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		子ども子育て支援事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		学校教育の充実						事業の効果		幼児教育の利用希望者に対して、利用調整と費用支援を行うことができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		100	%	考え方	利用人数／申込人数		実数	9／9								
実施主体		○ 政策		○ 法令等		上記指標とした理由		児童・保護者の希望に合わせて実施する必要がある。														
独自の拡充		ある		○ ない		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○										
事業の目的		子ども子育て支援新制度に基づき、町内児童の幼稚園利用費用の一部を町が負担する。						上記の理由		町には就学前教育施設がないため、幼児教育を希望する場合、広域利用を支援する必要がある。												
事業の内容		①保護者の希望に応じた利用支援を行う。 ②利用に要する費用を負担する。						成果向上の余地		有		○ 無		該当する欄に○								
事業の対象		小坂町に在住する児童が希望する幼稚園(広域利用)						上記の理由														
事業費								社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○								
区 分		R 5 決算	R 6 決算	R 7 予算	上記の理由		幼稚園や認定こども園に入園を希望する者もいることから、行政が利用支援を行う必要がある。															
事業費の推移		歳入内訳	歳入内訳	歳入内訳	歳入内訳	歳入内訳	町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○									
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	2,583	千円	4,852	千円	5,379	千円	上記の理由	申込みの際に利用施設の希望を聞いている。												
		県支出金	2,180	千円	4,058	千円	4,491	千円		コスト改善の余地	有		○ 無		該当する欄に○							
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由													
		その他特定財源	0	千円	0	千円	0	千円			総合評価	○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○
		一般財源	2,182	千円	4,101	千円	4,494	千円	評価説明	今後も、幼児教育利用希望者の要望を聞き、利用調整等の支援に努める。												
	歳入合計	6,945	千円	13,011	千円	14,364	千円	学識経験者の意見等														
	歳出内訳	需用費	0	千円	0	千円	0	千円	すべての子育て家庭への支援を理念とする本事業推進に当たっては、保護者の希望に寄り添った支援を継続するとともに、幼・保・小連携により、スムーズに学校生活に馴染めるよう努められたい。													
		役務費	0	千円	0	千円	0	千円														
		委託料	0	千円	0	千円	0	千円														
		工事請負費	0	千円	0	千円	0	千円														
その他		6,945	千円	13,011	千円	14,364	千円															
歳出合計		6,945	千円	13,011	千円	14,364	千円															

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		学校給食助成事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		健やかな身体の育成						事業の効果		学校集金の減額により、保護者の負担を軽減することができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	100	%	考え方	助成実施者数／対象者数	実数	181／181								
		○ 政策		法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由	対象者にもれなく助成を行う必要がある。													
		その他		該当する欄に○																		
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○								
事業の目的		保護者の経済的負担を軽減し、教育の充実に資するとともに、子育てを応援する。						上記の理由		子育て世帯の経済的負担を軽減する施策の一つとして、給食費を助成することが有効である。												
								成果向上の余地								有		○ 無		該当する欄に○		
事業の内容		保護者が負担する給食費の半額を助成する。						上記の理由														
事業の対象		小・中学生を養育する、町内在住の保護者						社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○								
								上記の理由		出生数が低下しているなかで、子育てに要する経済的負担の軽減が求められている。												
事業費																						
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		まちづくりアンケート、各種委員会により住民意見を聴取している。										
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円														
		地方債		6,100 千円		5,800 千円		7,400 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由												
		一般財源		49 千円		56 千円		68 千円														
	歳入合計		6,149 千円		5,856 千円		7,468 千円		総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		0 千円		0 千円		0 千円		評価説明		今後も国・県等の動向に注視し子育て世帯の負担軽減に努める。										
		役務費		0 千円		7 千円		0 千円														
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円		学識経験者の意見等												
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円														
その他		6,149 千円		5,849 千円		7,468 千円																
歳出合計		6,149 千円		5,856 千円		7,468 千円		保護者に対する経済的負担軽減策として、本事業の効果は適当である。引き続き国・県の動向を注視しつつ、一歩踏み込んだ事業内容拡大(全額助成)を検討されたい。														

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		小坂小中学校ICT関連整備事業						内 部 評 価											
教育目標に基づく基本方針		学校教育の充実						事業の効果		既設のPC、PCシステム、通信環境の維持に加え、タブレット端末整備と通信環境増強により、学校におけるICT活用環境を推進することができた。									
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		116		%	考え方	タブレット端末台数 ／小中学校の児童生徒数		実数		249 ／(131+84)	
		○ 政策		法令等															
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		国が目標水準として児童生徒1人に1台端末を配備することを掲げていることから、児童生徒1人当たりのタブレット端末台数とした。									
		その他		該当する欄に○															
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○					
		上記の理由		学習指導要領においてICT環境の整備とICT活用学習の充実が求められている。															
事業の目的		地域格差の生じない、質の高い教育活動を可能にするため、ICT環境を整備する。						成果向上の余地		有		○ 無		該当する欄に○					
事業の内容		授業用・校務用のPC及びソフト、インターネット通信環境を整備する。						上記の理由											
事業の対象		小学校及び中学校						社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○					
								上記の理由		GIGAスクール構想に基づき、情報化と端末普及が急速に進展しており、機器操作はもとより、情報の収集・整理・発信力等の育成が求められている。									
		事業費						町民のニーズ		反映している		○ 反映していない		該当する欄に○					
区分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		上記の理由		学校教育におけるICT活用に関する調査等は実施していない。									
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0	千円	0	千円	1,623	千円	コスト改善の余地	有		○ 無		該当する欄に○					
		県支出金	0	千円	0	千円	0	千円											
		地方債	6,300	千円	7,500	千円	7,500	千円											
		その他特定財源	0	千円	0	千円	7,313	千円											
		一般財源	4,291	千円	3,603	千円	3,971	千円											
	歳入合計		10,591	千円	11,103	千円	20,407	千円	総合評価		○ A	B	C	D	E	該当する欄に○			
	歳出内訳	需用費	0	千円	0	千円	0	千円	評価説明		今後情報端末の更新により学習活動の充実を図るとともに、学習ソフトや通信環境の整備を進め、ICTを活用した教育環境の強化を図る。								
		役務費	0	千円	0	千円	0	千円											
		委託料	0	千円	0	千円	875	千円											
		工事請負費	0	千円	0	千円	8,061	千円											
その他		10,591	千円	11,103	千円	11,471	千円												
歳出合計		10,591	千円	11,103	千円	20,407	千円	学識経験者の意見等											
								十分なネットワーク速度の確保に取り組むとともに、既存のパソコンやタブレット端末等計画的に整備・更新することで、デジタル社会に対応できる人材育成に努められたい。											

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		小学校整備事業						内 部 評 価									
教育目標に基づく基本方針		適正な学習環境を維持するため、学校施設の整備、改修を行う。						事業の効果		腐食のおそれがある地下油タンクに対し、危険物流出時の検知が可能な高精度油面計を設置することで、常時監視体制を構築した。							
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		100	%	考え方	実施事業数/計画事業数		実数	1/1			
実施主体		○ 政策		法令等		該当する欄に○		上記指標とした理由		学校校舎の現状に応じた改修等を行うことで、適正な学習環境を維持する必要がある。							
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○			
事業の目的		適正な学習環境の維持						上記の理由		公共施設等総合管理計画に基づく点検結果を踏まえ、計画的な施設の整備・改修を実施する必要がある。							
事業の内容		学校施設の整備・改修						成果向上の余地		有		○ 無		該当する欄に○			
事業の対象		町立小学校						上記の理由									
事業費								社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○			
区分		R 5 決算	R 6 決算	R 7 予算	町民のニーズ		上記の理由		学校設置者として、児童生徒が安全な環境で安心して学校生活を過ごせるよう施設を管理する必要がある。								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	7,516 千円	0 千円	0 千円	反映している		○ 反映していない		該当する欄に○							
		県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	上記の理由		学校校舎の維持管理に関する調査等は実施していない。									
		地方債	14,800 千円	0 千円	0 千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○					
		その他特定財源	1,430 千円	0 千円	0 千円	上記の理由											
		一般財源	14 千円	1,377 千円	5,759 千円	総合評価		○ A		B	C	D	E	該当する欄に○			
	歳出内訳	需用費	0 千円	0 千円	0 千円	評価説明		今後も、適正な学習環境を維持していく。									
		役務費	0 千円	0 千円	0 千円	学識経験者の意見等											
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円												
		工事請負費	23,760 千円	1,377 千円	5,759 千円												
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	経年劣化に伴う整備・改修はもとより、気候変動適応の一分野である熱中症対策強化のための冷房機器設置等、安全・安心な学習環境の維持に努められたい。											
歳出合計		23,760 千円	1,377 千円	5,759 千円													

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	総務班
----------	-----

事業名		学校給食事業						内 部 評 価									
教育目標に基づく基本方針		健やかな身体の育成						事業の効果		自校調理方式により、児童生徒が食事を楽しみ、地域の食文化に触れる機会を提供することができた。							
当該事業の要因		○ 町民ニーズ			該当する欄に○			効果を示す指標と 考え方	77	%	考え方	食材主要41品目の 秋田県産使用量／総使用量			実数	16,094kg ／ 20,871kg	
		政策		法令等													
実施主体		○ 教育委員会(町)			国		県		上記指標とした理由	日々のメニューにおいて、地産地消を推進するうえで、県産食材の使用率を把握する必要がある。							
		その他		該当する欄に○													
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○			
事業の目的		栄養バランスが良く、地元食材を使用した食事の提供						上記の理由		自校調理方式の給食により、安全・安心で温かい食事を提供することが、身体の健全な発達、食に関する正しい理解を図るうえで有効である。							
								成果向上の余地									
事業の内容		自校式による完全給食の実施						上記の理由		地域の優れた食材や伝統的な食文化について理解を深める機会として、より充実したメニューの提案を検討すること必要がある。							
事業の対象		町立小・中学校						社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○			
								上記の理由		学校設置者として、学校給食の実施、普及と健全な発達に努めることが求められている。							
事業費																	
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○			
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		児童生徒から、意見を聴取している。					
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○	
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		設備の点検や、機器の適切な時期での交換により、修繕等にかかる費用を抑える必要がある。					
		一般財源		22,724 千円		22,024 千円		23,607 千円									
	歳入合計		22,724 千円		22,024 千円		23,607 千円		総合評価		A ○ B		C		D E 該当する欄に○		
	歳出内訳	需用費		4,657 千円		3,306 千円		3,181 千円		評価説明		今後も、地元生産者の協力を得ながら、小坂町ならではの食材やメニューの提供に努める。					
		役務費		1,042 千円		899 千円		1,364 千円									
		委託料		16,697 千円		16,671 千円		17,412 千円									
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円									
		その他		328 千円		1,148 千円		1,650 千円									
	歳出合計		22,724 千円		22,024 千円		23,607 千円		学識経験者の意見等								
アカシアの蒸しケーキ、山菜、ヒメマス、桃豚など、地元食材を取り入れたメニュー「たらふくかつのアカシア給食」も提供されている。地元生産者と情報共有を図りながら、今後も児童生徒の胃袋をつかむ自校式給食の実施に努められたい。																	

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		二十祭事業					内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実					事業の効果		二十歳を迎えた者を激励し、交友関係と郷土愛を深める機会を提供できた。												
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○			効果を示す指標と 考え方	93	%	考え方	二十祭参加率 評価対象年度 / 前年度		実数	68 / 73							
		○ 政策	法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県	上記指標とした理由	二十歳を迎えた者を祝い、激励する機会であり、対象者の参加状況を把握する必要がある。													
		その他		該当する欄に○																	
独自の拡充		ある	○ ない		該当する欄に○			事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○							
事業の目的		二十祭を企画、実施する。					上記の理由		二十歳を迎えた者を祝い、激励する場、交友関係と郷土愛を深める機会として有効である。												
							成果向上の余地										○ 有		○ 無		該当する欄に○
事業の内容		町内在住及び町出身の二十歳を迎えた者を対象に節目の式典を行う。実行委員会を組織し、記念誌の編集や式典を企画し実施する。					上記の理由		二十歳を迎えた者による提案等を実施内容に反映する工夫が必要である。												
事業の対象		町内在住及び町出身の二十歳を迎えた者					社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○								
事業費		事 業 費					上記の理由		二十歳を迎えた者を祝い、激励する機会、人生におけるセレモニーとして、事業実施が求められている。												
							町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○								
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		上記の理由		町内在住の対象者で構成する実行委員会を設置し、実施内容を協議している。											
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		県支出金	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由												
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円													
		その他特定財源	0	千円	0	千円	0	千円													
		一般財源	358	千円	350	千円	451	千円	総合評価		○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○
	歳入合計		358	千円	350	千円	451	千円	評価説明		新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮した上で、特別の制限をすることなく、実行委員会の提案を反映し実施することができた。										
	歳出内訳	需用費	79	千円	73	千円	93	千円	学識経験者の意見等												
		役務費	26	千円	26	千円	28	千円													
		委託料	0	千円	0	千円	0	千円													
		工事請負費	0	千円	0	千円	0	千円													
その他		253	千円	251	千円	330	千円														
歳出合計		358	千円	350	千円	451	千円	近隣市町村では、参加者の都合により式典が開催できない事態が現実味を帯びる中、国重要文化財「康楽館」を会場に、対象者が主体となって地元愛を全面に出した一生に一度の記念式典が開催されるよう、今後も取り組まれない。													

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		放課後児童健全育成事業						内 部 評 価															
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		放課後、土曜日、長期休業期間において、保護者が養育できない児童に適切な遊びや生活の場を提供することができた。県研修や研修報告等で情報共有を図り、支援員の資質向上に努めた。また、放課後子ども教室と一体的に実施することで、総合的な放課後対策を進めた。													
当該事業の要因		町民ニーズ ☐ 政策		法令等 ☐		該当する欄に○		効果を示す指標と 考え方		116	%	考え方	年間開所日数 町実績日数 / 国基準日数	実数	290 / 250								
実施主体		☐ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		留守家庭児童の育成事業であり、国が基準日数を示していることから、実績日数を把握する必要がある。													
独自の拡充		☐ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		☐ 適当である		☐ 適当でない		該当する欄に○									
事業の目的		昼間、保護者のいない家庭の小学校児童等の育成・指導に資するため、児童クラブを設置し児童の健全育成の向上を図る。						上記の理由		昼間、保護者のいない家庭の小学校児童等の育成・指導に資するため、児童クラブを設置・運営することが有効である。													
事業の内容		昼間、保護者のいない家庭の小学校児童等の育成・指導に資するため、児童クラブを設置する。						成果向上の余地		☐ 有		☐ 無		該当する欄に○									
事業の対象		町内の小学生						上記の理由		学校と家庭の狭間で集団生活が乱れがちになるため、さらに生活習慣の定着指導に努める必要がある。													
事業の背景との適合		☐ 有						☐ 無		該当する欄に○													
事業費		上記の理由						昼間、保護者不在家庭の小学校児童に対し、発達段階に応じた遊びや生活を送れる場所の提供が求められている。															
区分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		☐ 反映している		☐ 反映していない		該当する欄に○									
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		全児童の保護者に対して放課後児童クラブについて案内するとともに、利用児童の保護者から随時、意見を聴取している。											
		県支出金		4,835 千円		5,204 千円		5,200 千円		コスト改善の余地		☐ 有		☐ 無		該当する欄に○							
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由													
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		総合評価		☐ A		☐ B		☐ C		☐ D		☐ E		該当する欄に○	
		一般財源		2,471 千円		4,175 千円		5,866 千円		評価説明		今後も、利用希望のある児童は全て受け入れし、児童の健全育成の向上に努める。											
	歳入合計		7,306 千円		9,379 千円		11,066 千円		学識経験者の意見等		平日から土曜日(希望者のみ)まで、全学年を対象に、多様化するニーズに対応した実態が開所日数として現れており、核家族化が利用件数増加の一因と推察される。引き続き受け入れ体制を維持することで、児童の健全育成向上に努められたい。												
	歳出内訳	需用費		165 千円		217 千円		194 千円															
		役務費		22 千円		49 千円		27 千円															
		委託料		0 千円		0 千円		28 千円															
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円															
その他		7,119 千円		9,113 千円		10,817 千円																	
歳出合計		7,306 千円		9,379 千円		11,066 千円																	

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		学校・家庭・地域連携総合推進事業						内 部 評 価									
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		学校授業のサポートや学用品リユース事業の展開や学校ボランティア交流会(熟議)を開催。学校ボランティアの意見を集約し、子どもたちの学びを地域みんなで支援する体制を強化することができた。							
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		59	%	考え方	学校活動における住民参画件数 評価対象年度 / 前年件数		実数	36/61			
実施主体		○ 教育委員会(町)		国 県		上記指標とした理由		学校と地域の新たな関係をつくるうえで、地域住民が学校活動に関わる機会を増やす必要がある。									
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○			
事業の目的		学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちの成長を支える。						上記の理由		学校、家庭、地域が連携して教育に取り組むことは、地域全体の教育力の向上に有効である。							
事業の内容		地域住民等の参画による様々な活動を行う。従来の学校支援本部事業、家庭教育支援事業、放課後子ども教室推進事業を一体的に進める。						成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○			
事業の対象		小坂小中学校の児童生徒・教職員 地域住民						上記の理由		学校支援ボランティアを組織化し、活発な自立活動にする必要がある。							
事業の背景		社会背景との適合						○ 有		○ 無		該当する欄に○					
事業の経費		上記の理由						地域の実情に応じた学校・家庭・地域の連携促進による社会全体の教育力向上が求められている。									
事業費		R 5 決算 R 6 決算 R 7 予算						町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○			
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由		主に学校の活動要請に応じて事業実施している。						
		県支出金	1,518	千円	1,619	千円	1,981	千円	コスト改善の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○		
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由								
		その他特定財源	0	千円	0	千円	0	千円	総合評価		A B ○ C D E		該当する欄に○				
		一般財源	1,047	千円	1,165	千円	1,466	千円	評価説明		これまでの活動が認められ、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協同活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞した。今後も事業の振り返りを行いながら事業を推進していく。						
	歳出内訳	歳入合計	2,565	千円	2,784	千円	3,447	千円	学識経験者の意見等								
		需用費	88	千円	91	千円	115	千円	これまでの功績が認められ、大臣表彰を受賞されたことは評価に値するが、地域学校協働本部としての活動実態が町民に対し周知不足のように感じられる。学校・地域・家庭が相互に連携・協働しながら、地域全体で子どもたちを育む体制を強化されたい。								
		役務費	94	千円	51	千円	73	千円									
		委託料		千円		千円	56	千円									
		工事請負費	0	千円	0	千円	0	千円									
その他	2,383	千円	2,642	千円	3,203	千円											
歳出合計	2,565	千円	2,784	千円	3,447	千円											

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		生涯学習奨励活動事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		まなびピアの開催協力など、さまざまな機会を通じて、町民の学習意欲の向上に努めることができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	100	%	考え方	生涯学習奨励員活動回数		実数	8/8							
		○ 政策		法令等								評価対象年度 / 前年度										
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由	各奨励員による情報交換等を年間を通じて行うことで、住民の生涯学習に対する意欲・関心の喚起に役立てる必要がある。													
		その他		該当する欄に○																		
独自の拡充		ある		○ ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○								
事業の目的		生涯学習奨励員を設置し、住民による生涯学習を推進する。行事ごよみ作成に対して補助する。						上記の理由		公民館職員だけではなく、一般町民から委嘱された奨励員により生涯学習支援をすることが有効である。												
								成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○								
事業の内容		生涯学習推進のため、奨励員を設置して各種活動の支援を行うとともに、行事ごよみ作成に対する補助を行う。						上記の理由		奨励員の活動を通して、町民の生涯学習意欲の向上を図る必要がある。												
事業の対象		全町民						社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○								
								上記の理由		自由時間の増大など社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいのための学習機会が求められている。												
		事業費						町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		上記の理由		奨励員の活動を通して町民のニーズを把握している。										
		国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円														
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由												
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円														
	一般財源		896 千円		882 千円		919 千円		総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	歳入合計		896 千円		882 千円		919 千円		評価説明		今後も、町民の生涯学習活動の奨励に努める。										
		需用費		0 千円		0 千円		3 千円														
		役務費		14 千円		0 千円		17 千円		学識経験者の意見等												
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円														
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円														
		その他		882 千円		882 千円		899 千円														
歳出合計		896 千円		882 千円		919 千円		「人生100年時代」に向けて社会が大きな転換期を迎える中、生涯学習の重要性は一層高まっている。豊かな人生を送ることができるよう、いつでも・だれでも・自由に学びを選択し、スキルを身につけられる学習機会の提供・支援を推進されたい。														

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		生涯学習のつどい事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		生涯学習奨励員・参加団体からの意見を取り入れて、実施内容を工夫し、多数の参加を得ることができた。												
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		122		%	考え方	来場者数 評価対象年度 / 前年度		実数		982 / 803				
		○ 政策		法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		自ら学習する方、学習活動に関心を持つ方の増加を図り、町民の生涯学習活動を活発にする必要がある。												
		その他		該当する欄に○																		
独自の拡充		ある		○ ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である				適当でない		該当する欄に○						
事業の目的		町民の学習発表の場として「まなびピア」を開催し、相互交流と新たな学習意欲を喚起する。						上記の理由		町民の学習意欲の向上を図るうえで、学習の成果を発表し、評価される機会の提供が有効である。												
								成果向上の余地		○ 有				無		該当する欄に○						
事業の内容		生涯学習グループの学習発表及び交流の場として生涯学習のつどい、「まなびピア」を実施する。						上記の理由		より多くの方々から関心を持って参加、来場していただくため、実施内容をさらに工夫する必要がある。												
事業の対象		地域住民						社会背景との適合		○ 有				無		該当する欄に○						
		事業費						上記の理由		地域の人材育成の観点からも、様々な「学習の成果」が適切に評価される機会が求められている。												
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している				反映していない		該当する欄に○						
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		生涯学習奨励員、活動団体から意見を聴取するとともに、アンケートにより来場者の感想を把握している。										
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地				有		○ 無		該当する欄に○				
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由												
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円														
		一般財源		74 千円		361 千円		135 千円														
	歳入合計		74 千円		361 千円		135 千円		総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		16 千円		1 千円		32 千円		評価説明		新たに1団体、1個人の出展があり、来場者も前年度比22.3%の増となった。今後も学習成果の発表、学習意欲を喚起する場として、多数の参加を得られるよう実施方法の工夫に努める。										
		役務費		28 千円		14 千円		33 千円														
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円		学識経験者の意見等												
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円														
		その他		30 千円		346 千円		70 千円		関係者等の意見を参考に実施内容を工夫したことで、来場者数の増加につながっている。総合教育エリアの特性を踏まえ、学校文化祭と同一の開催日が定着しており、引き続き学習発表の場の提供に努められたい。												
	歳出合計		74 千円		361 千円		135 千円															

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		文化財保護事業					内 部 評 価																	
教育目標に基づく基本方針		地域文化の振興					事業の効果		各民俗の保存団体に対する補助金交付を行うことでそれらの維持と発展に寄与する。															
当該事業の要因		町民ニーズ			該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		100 %		考え方		指定文化財行事の実施件数 評価対象年度 / 前年度		実数		4 / 4							
		○ 政策		法令等																				
実施主体		○ 教育委員会(町)			国		県		上記指標とした理由		文化財保護の観点から、伝統行事が途絶えることのないよう保護・支援する必要がある。													
		その他			該当する欄に○																			
独自の拡充		ある		○ ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○										
事業の目的		文化財保護審議会を設置し、計画的に文化財の保護と町指定を進める。小坂七夕、盆踊りなどの伝統文化行事に対して補助する。					上記の理由		人口の減少と高齢化が進む地域が多いことから、補助金の交付は伝統行事の継続、文化の継承に有効である。															
							成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○											
事業の内容		小坂七夕まつり、七滝・川上盆踊り、濁川の虫送り、出羽神社権現舞への補助金交付。各指定文化財の調査等。					上記の理由		有形文化財(建造物)以外についても調査を進め、また、無形民俗文化財保存団体のより活発な活動を促す必要がある。															
事業の対象		指定・未指定文化財					社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○											
事業費		区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		上記の理由		歴史・文化の理解に不可欠の財産として適切に保存されること、また、地域づくりや観光資源等としての活用が求められている。												
										町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		継承者の少子高齢化が進む中ではあるが、伝統行事を継承していくよう支援していく。												
		県支出金		99 千円		98 千円		98 千円		コスト改善の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○								
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		指定文化財(有形)の維持補修について、計画的に実施していく必要がある。												
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円																
		一般財源		2,174 千円		2,574 千円		4,383 千円		総合評価		○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○		
	歳出内訳	歳入合計		2,273 千円		2,672 千円		4,481 千円		評価説明		七夕、七滝・川上盆踊り、出羽神社権現舞へ補助金交付を行ったほか、濁川虫送り等伝統行事の実態調査を行うことができたため。												
		需用費		0 千円		0 千円		10 千円																
		役務費		0 千円		1 千円		23 千円																
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円																
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円																
その他		2,273 千円		2,671 千円		4,448 千円		学識経験者の意見等																
歳出合計		2,273 千円		2,672 千円		4,481 千円												今日まで脈々と受け継がれてきた伝承文化の保存・継承に当たっては、人口減少や高齢化が顕著な状況下にあつて後継者不足が懸念されることから、主体的に参画する環境づくりに努められたい。						

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		文化財施設管理事業				内 部 評 価													
教育目標に基づく基本方針		地域文化の振興				事業の効果		文化財の価値を共有し、保護していくうえで、実際に見学等ができる環境を維持する必要がある。											
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		96	%	考え方	指定有形文化財・史跡 見学可能物件数／対象物件数	実数	22／23						
実施主体		○ 政策		法令等		上記指標とした理由		文化財の価値を共有し、保護していくうえで、実際に見学等ができる環境を維持する必要がある。											
独自の拡充		ある		○ ない		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○							
事業の目的		町内に所在する文化財を適切に保護し、次世代に継承する。				上記の理由		指定有形文化財や史跡を適切に管理することが、文化財の継承に有効である。											
事業の内容		秋田県指定有形文化財「旧工藤家住宅 主屋」や町指定有形文化財・史跡の管理を行う。				成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○							
事業の対象		指定有形文化財・史跡				上記の理由		現状の把握は日常管理の中でできているが、詳細な調査を実施する必要がある。											
事業費						社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○							
上記の理由						上記の理由		歴史・文化の理解に不可欠の財産として適切に保存されること、また、地域づくりや観光資源等としての活用が求められている。											
区分		R 5 決算	R 6 決算	R 7 予算	町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0 千円	0 千円	0 千円	上記の理由		指定文化財の内、展示できていないものや自然災害等で公開出来ない施設が増加したが資料等で公開できるよう整理していく。											
		県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	コスト改善の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	上記の理由		適切な文化財保護のため予算の充当が必要である。											
		その他特定財源	14 千円	0 千円	10 千円	総合評価		○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○	
		一般財源	867 千円	1,662 千円	1,504 千円	評価説明		指定文化財の内、自然災害等で公開することができなかった指定物件があったため。											
	歳出内訳	歳入合計	881 千円	1,662 千円	1,514 千円	学識経験者の意見等													
		需用費	187 千円	168 千円	269 千円	国・県・町指定文化財や国登録文化財の適切な保護と活用を推進することで、町民が郷土の歴史を正しく理解し、ふるさとに対する誇りと愛着心を育む環境づくりに努められたい。また、町内に分布する近代遺構を含む埋蔵文化財の調査にも取り組まれたい。													
		役務費	197 千円	181 千円	191 千円														
		委託料	479 千円	1,281 千円	1,037 千円														
		工事請負費	0 千円	0 千円	0 千円														
その他	18 千円	32 千円	17 千円																
歳出合計	881 千円	1,662 千円	1,514 千円																

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		芸術文化振興事業						内 部 評 価										
教育目標に基づく基本方針		地域文化の振興						事業の効果		現代劇の祭典を開催し、演劇文化に関する人材交流及び舞台創造の人材育成としての機能を発揮させることができた。								
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		108	%	考え方	観客数 実績人数 / 想定人数		実数	270 / 250				
		○ 政策	法令等															
実施主体		教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		幅広い世代が演劇に親しみ、将来的な人材育成と演劇文化の発展に向け来場者数を一つの指標とした。								
		○ その他		該当する欄に○														
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		適当でない		該当する欄に○				
事業の目的		国指定重要文化財「康楽館」において、現代劇の祭典を開催し幅広い人材や世代の交流を図り、多様な舞台創造の拠点として発信及び地域文化の発展に寄与する。						上記の理由		北東北管内を中心として一般団体及び高校演劇部が出演してもらうことで世代交流とあわせ演劇のすばらしさを体感することができる。								
								成果向上の余地								有		○ 無
事業の内容		これまでの「北の演劇祭」、国民文化祭「演劇フェスティバル」の継承と康楽館を核とした地域文化の発展を目指し、「康楽館演劇祭」を開催する。						上記の理由		前身の北の演劇祭から通算20年を経過し、小学生が高校演劇に進んだりボランティアとして参加するなど一定の成果を得たとともに所期の目的を達成したものと判断し今回で最終開催とした。								
事業の対象		①一般団体 ②高等学校 ③中学生 ④小学生						社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○				
								上記の理由		文化の殿堂康楽館から演劇文化を発信し身近に触れる貴重な機会であり、人材育成と交流の場としても機能した。								
事業 費																		
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○				
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		千円		千円		千円	上記の理由		アンケートのほか住民含む関係者との協議を重ね公演内容や出演団体、開催日程等の改善を重ねてきた。							
		県支出金		千円		千円		千円										
		地方債		千円		千円		千円	コスト改善の余地		○ 有		無		該当する欄に○			
		その他特定財源		千円		千円		千円	上記の理由		令和7年度以降は開催しないため町の費用負担(補助金)はなくなる。							
		一般財源	1,100	千円	1,100	千円	0	千円										
	歳入合計		1,100	千円	1,100	千円	0	千円	総合評価		○ A		B	C	D	E	該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		千円		千円		千円	評価説明		20年に及ぶ事業を完結させたほか次年度以降の費用負担もなくなった。							
		役務費		千円		千円		千円										
		委託料		千円		千円		千円	学識経験者の意見等									
		工事請負費		千円		千円		千円										
		その他	1,100	千円	1,100	千円		千円										
	歳出合計		1,100	千円	1,100	千円	0	千円	前身の北の演劇祭から20年に渡り発展・発信し続けてきた本事業も、評価対象年度を持って一区切りとしたものの、康楽館の舞台に立つ機会は、子どもたちにとって貴重な経験となることから、既存事業を含め今後何らかの形で実施できるよう検討されたい。									

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		中央公民館青少年教育事業						内 部 評 価									
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		青少年育成小坂町民会議、少年クラブ事業を通して、青少年の健全育成と創造性豊かな人格の形成に寄与することができた。研修会では人気児童作家の講演会を実施し、より多くの町民が参加できるように工夫した。							
当該事業の要因		町民ニーズ		法令等		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		93	%	考え方	社会を明るくする運動キャッチフレーズ「コンクール」応募点数 ／町内児童生徒数(小5～中3、6月1日)		実数	124／133	
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		次代を担う世代の育成において、地域や人との関わりに関心を持ち、自らの考えを発信する者の増加を図る必要がある。							
		その他		該当する欄に○													
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○			
								上記の理由		様々な事業や機会をとおして、青少年育成に地域全体で関わる必要がある。							
事業の目的		次代を担う子どもたちを育成する。						成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○			
事業の内容		少年クラブ事業、社会を明るくする運動、青少年育成小坂町民会議の補助を行う。						上記の理由		より多くの町民が青少年育成に関わる機会を持てるよう工夫する必要がある。							
事業の対象		児童、生徒						社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○			
								上記の理由		青少年の健全育成は、社会全体の責任であり、すべての組織及び個人の相互協力による取組が求められている。							
事業費								町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○			
区分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		上記の理由		各事業等の実施に際して、地域や関係機関の代表者から意見等を聴取している。							
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○		
		県支出金	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由								
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円									
		その他特定財源	0	千円	0	千円	0	千円									
		一般財源	328	千円	319	千円	275	千円									
	歳入合計		328	千円	319	千円	275	千円	総合評価		○ A	○ B	○ C	○ D	○ E	該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費	8	千円	8	千円	10	千円	評価説明		今後も、より多くの町民が青少年育成に関わる機会を持てるよう工夫して事業実施に努める。						
		役務費	9	千円	0	千円	11	千円									
		委託料	0	千円	0	千円	0	千円									
		工事請負費	0	千円	0	千円	0	千円									
その他		311	千円	311	千円	254	千円										
歳出合計		328	千円	319	千円	275	千円			学識経験者の意見等							
										さまざまな活動を通じて、子どもたちの好奇心や探究心を刺激するとともに、心身の健全な成長を促進するため、地域が一体となって青少年の健全育成に関わる機会の創出に取り組まれない。							

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		中央公民館女性教室事業						内 部 評 価																	
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		各種講座を通して、参加者の自己成長と交流を図ることができた。近隣市町村や県外の人気講師にも依頼し新しいクラフト技術やダンス、音楽等を学ぶ機会を提供することができた。また、町内講師のハンドメイド講座で作った作品をまなびピアで出展できて大好評だった。															
当該事業の要因		町民ニーズ		政策		法令等		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		100	%	考え方	参加者数 / 想定人数	実数	100 / 100								
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		該当する欄に○		上記指標とした理由		対象者のニーズに合致した内容で講座を実施できた否かを把握する必要がある。													
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○											
事業の目的		女性の自己成長を促す。						上記の理由		対象者の交流と自己成長の機会として、講座の開催が有効である。															
事業の内容		女性を対象とした各種講座を開催する。						成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○											
事業の対象		女性						上記の理由		魅力的な講座内容、周知方法の充実により、参加人数の増加を図る必要がある。															
事業の背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○		上記の理由		女性の活躍が求められる時代において、仕事や血縁等によらない人的交流、余暇を楽しむ自己成長するきっかけが求められている。															
事業費																									
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○											
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		参加者から、講座メニューの希望を聴取している。													
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○									
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由															
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		総合評価		○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○			
		一般財源		94 千円		90 千円		109 千円		評価説明		今後も、各種講座を開催し、女性の交流と自己成長の機会提供に努める。													
	歳出内訳	歳入合計		94 千円		90 千円		109 千円		学識経験者の意見等															
		需用費		0 千円		0 千円		11 千円		女性活躍社会推進の一助となるよう、時代に即した魅力的な講座を通じたスキルアップのため、ニーズ把握に努めるとともに、より多くの方が参加できるよう周知方法についても工夫されたい。															
		役務費		9 千円		9 千円		11 千円																	
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円																	
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円																	
その他		85 千円		81 千円		87 千円																			
歳出合計		94 千円		90 千円		109 千円																			

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		中央公民館成人教育事業					内 部 評 価															
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実					事業の効果		地域・町民の健康増進と親睦交流の機会を提供することができた。													
当該事業の要因		○ 町民ニーズ			該当する欄に○			効果を示す指標と 考え方	146	%	考え方	町民ハイキング参加者 評価対象年度 / 前年度			考え方	41 / 28						
		政策		法令等																		
実施主体		○ 教育委員会(町)			国		県		上記指標とした理由	各地域コミュニティ(自治会)を担う人材を育成するうえで、より多くの町民が参加したい事業とする必要がある。												
		その他			該当する欄に○																	
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○			事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○							
事業の目的		交流を深めながら様々な分野について学びの場を提供し、地域の中心になって活動する人材を育成する。						上記の理由		趣味や学びを通して、地域人材の交流と育成を図ることが有効である。												
								成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○								
事業の内容		囲碁将棋大会、大人の学び塾を開催するほか、自治会連絡協議会の事業に協力する。						上記の理由		事業や講座に対する社会と町民ニーズのマッチングにより向上が期待できる。												
事業の対象		町民(成人)						社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○								
		事 業 費						上記の理由		社会のニーズが多様化しており、地域人材の育成が求められている。												
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		自治会連絡協議会を通じて、地域住民の意見を反映させながら活動を行っている。										
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円														
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○						
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由												
		一般財源		132 千円		148 千円		255 千円														
	歳入合計		132 千円		148 千円		255 千円		総合評価		○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		5 千円		1 千円		9 千円		評価説明		町民のニーズに幅広く応えられるような魅力ある講座を開催するとともに、積極的な参加の呼びかけに努める。										
		役務費		0 千円		0 千円		0 千円														
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円		学識経験者の意見等												
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円														
その他		127 千円		147 千円		246 千円																
歳出合計		132 千円		148 千円		255 千円		生活、文化、趣味など各種講座開催を通じ、地域コミュニティ活動を担うリーダー育成を推進することで、町の活性化に繋がるよう努められたい。														

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	學習振興班
----------	-------

事業名						中央公民館高齢者教育事業						内 部 評 価													
教育目標に基づく基本方針						社会教育の充実						事業の効果		年間を通じて高齢者を対象に、社会・芸術・健康・郷土など様々な分野での学習と外出、交流の機会を提供した。											
当該事業の要因						町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		88		%		考え方		老壮大学参加率		実数		28.7／32.5	
						○ 政策		法令等						評価対象年度 / 前年度											
実施主体						○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		対象者にとって魅力ある講座内容となっているかを把握する必要がある。											
						その他		該当する欄に○																	
独自の拡充						○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適切である				適切でない		該当する欄に○					
事業の目的						高齢者に学習の場を提供する。併せて、高齢化が進む地域の活性化を図る。						上記の理由		同年代の他者と交流し、一緒に学ぶ機会を提供することは、日々の生活を楽しむ一助として有効である。											
												成果向上の余地		○ 有				無		該当する欄に○					
事業の内容						高齢者に学習の場を提供するため老壮大学を開催する。						上記の理由		学習委員(老人クラブ)と協議し、対象者にとって魅力的な学習内容を提供する必要がある。											
事業の対象						地域の高齢者						社会背景との適合		○ 有				無		該当する欄に○					
事業費						事業費						上記の理由		高齢者の引きこもり予防の観点からも、外出と新たな学びの機会を定期的に提供することが求められている。											
												町民のニーズ		○ 反映している				反映していない		該当する欄に○					
事業費の推移		歳入内訳		国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		講座の内容について、学習委員(老人クラブ)と協議している。											
				県支出金		0 千円		0 千円		0 千円															
				地方債		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		○ 有				無		該当する欄に○					
				その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		学習活動における移動学習のあり方などを検討する必要がある。											
				一般財源		202 千円		136 千円		182 千円															
		歳入合計		202 千円		136 千円		182 千円		総合評価		A ○ B		C		D		E		該当する欄に○					
		歳出内訳		需用費		4 千円		1 千円		24 千円		評価説明		老人クラブや関係機関と協議しながら、魅力的な学習内容の提供と参加者の増加に努める。											
役務費				21 千円		18 千円		22 千円																	
委託料				0 千円		0 千円		0 千円		学識経験者の意見等															
工事請負費				0 千円		0 千円		0 千円																	
その他				177 千円		117 千円		136 千円																	
歳出合計		202 千円		136 千円		182 千円		インターネットやSNSの普及により学びの選択肢は多様化している。定年後の趣味は、老後の生活を充実させる重要な要素として注目されており、退職後の時間を有意義に過ごすための手段として、町老人クラブ連合会等との連携強化に努められたい。																	

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		小坂公民館中央地区自治会運営研究会事業						内 部 評 価											
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		各自治会における活動内容や課題を持ち寄り、グループ討議を行うことにより、町づくり運動の一助とすることができた。									
当該事業の要因		○ 町民ニーズ 政策				法令等		該当する欄に○		効果を示す指標と 考え方		74	%	考え方	自治会運営研究会の参加人数 評価対象年度 / 前年度		実数	14 / 19	
実施主体		教育委員会(町)		国		県		○ その他		該当する欄に○		上記指標とした理由		自治会活動、町づくり運動を活性化するうえで、自治会運営に関心を持つ町民の増加が必要である。					
独自の拡充		ある		○ ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○					
事業の目的		中央地区27自治会の代表者が集い、より充実した自治会活動、町づくり運動をめざす。						上記の理由		自治会活動の課題や悩みを交流し、参考事例などを全体化することで地域の活性化につながった。									
事業の内容		中央地区27自治会の代表者が集い、より充実した自治会活動、町づくり運動をめざすための研修活動を行う。						成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○					
事業の対象		中央地区自治会連絡協議会代表者及び自治会員						上記の理由		自治会活動、町づくりにつながり、また関心をもってもらえるような研修内容とすることで、参加者を増やしていくことができると考える。									
事業費								社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○					
区分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		上記の理由		公助に頼るだけではなく、共助意識の向上のためにも参考となる研修の実施が求められている。									
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0	千円	0	千円	0	千円	町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○			
		県支出金		0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由		主催者である自治会連絡協議会が町民ニーズに沿った内容を協議、実施している。							
		地方債		0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○			
		その他特定財源		0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由		必要最小限の運営費用である。							
		一般財源		0	千円	0	千円	20	千円	総合評価		A	○ B	C	D	E	該当する欄に○		
	歳出内訳	需用費		0	千円	0	千円	0	千円	評価説明		引き続き内容の充実と地域の活性化を支援していく。							
		役務費		0	千円	0	千円	0	千円	学識経験者の意見等									
		委託料		0	千円	0	千円	0	千円										
		工事請負費		0	千円	0	千円	0	千円										
		その他		0	千円	0	千円	20	千円	加入率低下や役員のなり手不足等自治会存続に直結する課題が山積する中、近隣市町村では自治会解散が現実味を帯びるなど、町づくりの根幹ともいえる由々しき事態に対処するため、解決策を見いだせるよう事業を実施されたい。									
歳出合計		0	千円	0	千円	20	千円												

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		川上公民館事業				内 部 評 価											
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実				事業の効果		地区によるイベントの開催などにより、地区住民の親睦を深め、連帯を強めることができた。									
当該事業の要因		○ 町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と 考え方	74	%	考え方	公民館利用者数 評価対象年度 / 前年度		実数	1,288 / 1,735				
		政策								法令等							
実施主体		○ 教育委員会(町)		国 県		上記指標とした理由	地域住民にとって最も身近な学習・交流の場、地区事業の拠点として、公民館の利用状況を把握する必要がある。										
		その他		該当する欄に○													
独自の拡充		ある	○ ない	該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○					
事業の目的		青少年教育、女性教育、成人教育、高齢者教育など各分野講座開催や各種団体支援、公民館だよりの発行などを行い、住民による地域づくり活動の継続と活性化を図る。				上記の理由		各単位自治会が積極的に地域づくりに取り組んでおり、引き続き地域住民の学習・交流及び地域活動を支援していくことが有効である。									
						成果向上の余地								○ 有		○ 無	
事業の内容		川上地区自治会連絡協議会が行う事業(環境美化活動、運動会)に対して補助するとともに、各種講座に講師を招く。				上記の理由		地域住民の学習・交流の機会となる講座や事業を実施することが必要である。									
事業の対象		町民(川上地区)				社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○					
						上記の理由		地域住民にとっての学習・交流拠点としての役割が、公民館に求められている。									
事業費																	
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○			
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		年数回、自治会の代表者が集まり、意見交換することで、住民のニーズを把握している。					
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○	
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由							
		一般財源		91 千円		99 千円		80 千円									
	歳入合計		91 千円		99 千円		80 千円		総合評価		A ○ B		C D E		該当する欄に○		
	歳出内訳	需用費		5 千円		19 千円		10 千円		評価説明		今後も、川上地区の自治会との連絡を密にして、地域活性化に向けた事業の実施に努める。					
		役務費		0 千円		0 千円		0 千円									
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円		学識経験者の意見等							
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円									
その他		86 千円		80 千円		70 千円											
歳出合計		91 千円		99 千円		80 千円		地域における交流拠点の中核として、利便性等向上を目的にリニューアルした体育館をこれまで以上に有効活用するなど、特色を活かした取り組みと、住民に寄り添った事業実施を継続されたい。									

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度 R 6 年度

評価実施年度 R 7 年度

所管部署(班)名 学習振興班

事業名		七滝公民館事業						内 部 評 価														
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実						事業の効果		環境美化活動やスポーツ交流会、研究会など、地域の課題交流や親睦の機会提供として事業を展開した。												
当該事業の要因		○ 町民ニーズ			該当する欄に○			効果を示す指標と 考え方		85		%		考え方		公民館利用者数 評価対象年度 / 前年度		実数		1,626 / 1,912		
		政策								法令等												
実施主体		○ 教育委員会(町)			国			県			上記指標とした理由		地域住民にとって最も身近な学習・交流の場、地区事業の拠点として、公民館の利用状況を把握する必要がある。									
		その他			該当する欄に○																	
独自の拡充		ある		○ ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である				適当でない		該当する欄に○						
事業の目的		青少年教育、女性教育、成人教育、高齢者教育など各分野講座開催や各種団体支援などを行い、住民による地域づくり活動の継続と活性化を図る。						上記の理由		各単位自治会が積極的に地域づくりに取り組んでおり、引き続き地域住民の学習・交流及び地域活動を支援していくことが有効である。												
								成果向上の余地		○ 有				無		該当する欄に○						
事業の内容		七滝地区自治会連絡協議会が行う事業に対して補助するほか、各種講座に講師を招く。						上記の理由		地域住民の学習・交流の機会となる講座や事業を実施することが必要である。												
事業の対象		町民(七滝地区)						社会背景との適合		○ 有				無		該当する欄に○						
		事業費						上記の理由		地域住民にとっての学習・交流拠点としての役割が、公民館に求められている。												
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している				反映していない		該当する欄に○						
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由		年数回、自治会の代表者が集まり、意見交換することで、住民のニーズを把握している。											
		県支出金	0	千円	0	千円	0	千円														
		地方債	0	千円	0	千円	0	千円	コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○							
		その他特定財源	0	千円	0	千円	0	千円	上記の理由													
		一般財源	105	千円	100	千円	127	千円														
	歳入合計		105	千円	100	千円	127	千円	総合評価		A		○ B		C		D		E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費	0	千円	3	千円	5	千円	評価説明		今後も、七滝地区の自治会との連絡を密にして、地域活性化に向けた事業の実施に努める。											
		役務費	0	千円	0	千円	0	千円														
		委託料	0	千円	0	千円	0	千円	学識経験者の意見等													
		工事請負費	0	千円	0	千円	0	千円														
その他		105	千円	97	千円	122	千円	地域における交流拠点の中核として、地元自治会との連携強化のもと、これまでの特色を活かした取り組みと、住民に寄り添った事業実施を継続されたい。														
歳出合計		105	千円	100	千円	127	千円															

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		図書館管理事業				内 部 評 価											
教育目標に基づく基本方針		社会教育の充実				事業の効果		テーマ展示、イベントの実施などにより、利用者の増加を図ったが、中学生・高校生の利用が著しく減少した。									
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		86 %		考え方		利用貸出冊数 評価対象年度 / 前年度		実数		10,643 / 12,346	
		○ 政策						法令等									
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		上記指標とした理由		図書資料の充実と利用環境の整備が反映される数値として、利用貸出冊数を把握する必要がある。									
		その他		該当する欄に○													
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		適当でない		該当する欄に○			
事業の目的		町の財産である図書館・図書資料をより多くの方からいつでも、誰でも、気軽に利用していただける図書館にするため、図書資料の充実と施設の環境整備を行う。						上記の理由		民間書店が存在しないことから、気軽に活字に触れられる機会を提供することが、教育と文化の発展に有効である。							
事業の内容		図書資料の充実と施設の環境整備を行う。				成果向上の余地		○ 有		無		該当する欄に○					
事業の対象		図書館利用者				上記の理由		図書館システムは運用開始(R3. 9)したが、全ての蔵書がシステムに移行できていない。これを完了することで利用者用端末の使用が可能になるため、利用者等の増加が見込める。									
事業費		社会背景との適合				○ 有		無		該当する欄に○							
						上記の理由		地域の知の拠点として、地域の資料収集・提供の場としての役割が、図書館に求められている。									
区分		R 5 決算	R 6 決算	R 7 予算	町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○						
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0 千円	0 千円	0 千円	上記の理由		利用者からの提言はもとより、図書館協議会を開催して地域住民や児童生徒保護者、学校関係者から意見を聴取している。									
		県支出金	0 千円	0 千円	0 千円												
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	コスト改善の余地		○ 有		無		該当する欄に○					
		その他特定財源	4 千円	5 千円	3 千円	上記の理由		毎月10万円程度の図書購入を継続し、利用増加を進める必要があるため。									
		一般財源	5,217 千円	4,596 千円	5,063 千円												
	歳入合計		5,221 千円	4,601 千円	5,066 千円	総合評価		A ○ B		C D E		該当する欄に○					
	歳出内訳	需用費	1,377 千円	1,154 千円	1,474 千円	評価説明		様々な図書館事業を展開し、利用や蔵書の周知を行ったが、事業以外の日常的な利用者が減少している。									
		役務費	354 千円	275 千円	277 千円												
		委託料	400 千円	410 千円	465 千円	学識経験者の意見等											
		工事請負費	0 千円	0 千円	0 千円												
その他		3,090 千円	2,762 千円	2,850 千円													
歳出合計		5,221 千円	4,601 千円	5,066 千円	誰でも気軽に利用できる図書館を目指し、各年代に見合ったイベントを開催するとともに、図書館システムは運用開始から3年超経過していることから、来館者の利便性向上のため毎年購入している図書を含めた全蔵書のシステム完全移行を推進されたい。												

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		郷土館管理事業						内 部 評 価													
教育目標に基づく基本方針		地域文化の振興						事業の効果		学校や地元企業の見学を積極的に受け入れ、教育普及を行うことができた。											
当該事業の要因		町民ニーズ		法令等		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		200	%	考え方	教育普及事業及び資料収集数 評価対象年度 / 前年度	実数	10 / 5						
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		教育普及や資料収集の件数から、学校や地域との連携、資料収集の状況を把握する必要がある。											
独自の拡充		ある		○ ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		適当でない		該当する欄に○							
事業の目的		郷土館の維持管理、郷土資料の収集、調査、保存、展示を行う。						上記の理由		資料を収集し、教育的配慮の下に利用に供するうえで、学校教育との連携が有効である。											
事業の内容		企画展、特別展の開催をととして、郷土の資料の収集、調査、整理保存を行う。郷土館の友の会への助言と育成を行う。						成果向上の余地		○ 有		無		該当する欄に○							
事業の対象		町民、その他						上記の理由		収集資料の整理に努め、学校や地域と連携しながら教育及び文化の発展により一層寄与していけるようにする。											
事業の背景		社会背景との適合						○ 有		無		該当する欄に○									
事業費		上記の理由						町民が郷土の自然と人文に関する認識を深めるため、資料収集や調査研究等の役割が、郷土館に求められている。													
区分		R 5 決算	R 6 決算	R 7 予算				町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○							
事業費の推移	歳入内訳	国支出金	0 千円	0 千円	0 千円			上記の理由		利用者からの提言はもとより、郷土館協議会を開催して地域住民や関係機関から意見を聴取している。											
		県支出金	0 千円	0 千円	0 千円			コスト改善の余地		○ 有		無		該当する欄に○							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円			上記の理由		今後、郷土館内の環境を適切に維持したり、より柔軟な展示ができるようリニューアルが必要である。											
		その他特定財源	713 千円	279 千円	730 千円			総合評価		○ A		B		C		D		E		該当する欄に○	
		一般財源	7,800 千円	7,282 千円	8,685 千円			評価説明		前年度より教育普及事業の件数は増加したが、資料収集や調査研究があまり進まなかった。											
	歳出内訳	歳入合計	8,513 千円	7,561 千円	9,415 千円			学識経験者の意見等													
		需用費	7,041 千円	5,529 千円	6,788 千円			収集資料の適切な維持管理と来館者に対する安全・安心な環境を提供するため、空調設備更新等老朽化した施設のメンテナンスに努められたい。													
		役務費	196 千円	299 千円	925 千円																
		委託料	1,102 千円	1,514 千円	1,418 千円																
		工事請負費	0 千円	0 千円	0 千円																
その他	174 千円	219 千円	284 千円																		
歳出合計	8,513 千円	7,561 千円	9,415 千円																		

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		郷土館特別展実施事業				内 部 評 価															
教育目標に基づく基本方針		地域文化の振興				事業の効果		町民のニーズ及び博物館の研究成果を展示にすることで新たな発見と文化的な生活を提供することができる。													
当該事業の要因		町民ニーズ		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		88 %		考え方		入館者数 評価対象年度 / 前年度		実数		2,270 / 2,569					
		○ 政策						法令等													
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		上記指標とした理由		企画展、特別展を訪れ、郷土に関する認識を深めた方の人数を把握する必要がある。													
		その他		該当する欄に○																	
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		適当でない		該当する欄に○							
事業の目的		企画展、特別展を開催し、文化遺産・歴史遺産の伝承等を図る。						上記の理由		研究成果を周知し、郷土に関する認識を深める機会を提供するうえで、企画展、特別展の実施が有効である。											
事業の内容		企画展、特別展を開催する。				成果向上の余地		○ 有		無		該当する欄に○									
事業の対象		町民、その他				上記の理由		新型コロナウイルス感染症拡大前の入館者数を上回ることができていない。緻密な研究と積極的な情報発信が必要。													
事業費		社会背景との適合		○ 有		無		該当する欄に○													
		上記の理由		町の歴史に係る資料を永続的に収集・保存する役割が、郷土館に求められている。																	
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		反映していない		該当する欄に○							
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		小坂町ゆかりの人物についての展覧会を開催している。									
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円													
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円													
		その他特定財源		4 千円		0 千円		54 千円													
		一般財源		916 千円		238 千円		1,530 千円													
	歳入合計		920 千円		238 千円		1,584 千円		コスト改善の余地		○ 有		無		該当する欄に○						
	歳出内訳	需用費		696 千円		171 千円		1,442 千円		上記の理由		研究費や保存資材のための予算拡充が必要である。									
		役務費		122 千円		27 千円		92 千円													
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円													
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円													
その他		102 千円		40 千円		50 千円															
歳出合計		920 千円		238 千円		1,584 千円		総合評価		A ○ B		C		D		E		該当する欄に○			
評価説明		学識経験者の意見等																			
												自然・考古・民族・美術工芸等郷土に関する資料を収集・展示することで、町内外の多くの来館者に対して、町の歴史に縁のある資料に触れる機会の提供に努められたい。また、様々な媒体を活用した事業開催時の周知・広報強化に取り組まれたい。									

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		スポーツ事業						内 部 評 価													
教育目標に基づく基本方針		生涯スポーツの振興						事業の効果		各種運動教室を定期的に開催し、町民の健康増進を図ることができた。											
当該事業の要因		町民ニーズ				該当する欄に○		効果を示す指標と考え方	117	%	考え方	参加者数		実数	1,464 ／1,250						
		○ 政策		法令等								実績人数 / 想定人数									
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由	町民のニーズに応える事業を実施できたか否かを把握する必要がある。												
		その他		該当する欄に○																	
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段	○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○								
事業の目的		①スポーツの活性化と生涯スポーツの推進 ②ニュースポーツの普及・推進 ③スポーツ指導者と団体の育成 ④町民の健康増進						上記の理由	健康寿命を延ばすためには継続的な運動が必要であり、また、定期的に教室を開催して参加者同士の交流も図ることが有効である。												
事業の内容		①各種運動教室の開催 ②十和田湖山開きの開催 ③単協主催の全町大会への補助 ④スポ協・スポ少への運営助成						成果向上の余地	○ 有		○ 無		該当する欄に○								
事業の対象		町民						上記の理由	魅力的な運動教室を企画し、参加者の増加を図る必要がある。												
事業費		社会背景との適合						○ 有		○ 無		該当する欄に○									
		上記の理由						秋田県では、目指せ健康寿命日本一と目標を掲げており、町独自の運動教室開催が求められている。													
区 分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ	○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○								
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由	参加者に要望等を聞き取りし、実施内容の継続や新設に関するニーズを把握している。										
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円													
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地	有		○ 無		該当する欄に○						
		その他特定財源		277 千円		207 千円		275 千円		上記の理由	講師等への報酬及び参加者の費用負担は適正である。										
		一般財源		2,580 千円		2,143 千円		2,662 千円													
	歳入合計		2,857 千円		2,350 千円		2,937 千円		総合評価	○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○	
	歳出内訳	需用費		178 千円		35 千円		20 千円		評価説明	今後も、町のスポーツ活性化、健康増進のために、運動教室の開催や各団体への助成実施に努める。										
		役務費		17 千円		12 千円		18 千円													
		委託料		89 千円		0 千円		60 千円		学識経験者の意見等											
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円													
その他		2,573 千円		2,303 千円		2,839 千円															
歳出合計		2,857 千円		2,350 千円		2,937 千円		町民一人一人が健康で活力ある生活を送ることができるよう、ニュースポーツの普及、指導者育成、協会等関係団体との連携、既存施設の適切な維持管理等社会体育活動推進に努められたい。													

小坂町教育委員会 事務事業評価シート

評価対象年度	R 6 年度
--------	--------

評価実施年度	R 7 年度
--------	--------

所管部署(班)名	学習振興班
----------	-------

事業名		水泳教室事業					内 部 評 価																				
教育目標に基づく基本方針		生涯スポーツの振興					事業の効果		子どもたちの健康保持増進のため、講師の指導の下、安全に泳法を学べる機会を提供することができた。																		
当該事業の要因		町民ニーズ		法令等		該当する欄に○		効果を示す指標と考え方		100 %		考え方		参加人数 評価対象年度 / 前年度		実数		22 / 22									
実施主体		○ 教育委員会(町)		国		県		上記指標とした理由		対象者が参加したいと思える内容で実施できたか否かを把握する必要がある。																	
独自の拡充		○ ある		ない		該当する欄に○		事業の手段		○ 適当である		○ 適当でない		該当する欄に○													
事業の目的		子どもの健やかな身体の育成と町民の健康増進を図る。					上記の理由		講師の指導の下、安全に泳法を学べる機会を提供することが、個々の水泳継続と健康増進に有効である。																		
事業の内容		小学生を対象とした水泳教室を開催する。					成果向上の余地		○ 有		○ 無		該当する欄に○														
事業の対象		小学生					上記の理由		参加者をさらに増やすために周知方法等検討する必要がある。																		
事業費							社会背景との適合		○ 有		○ 無		該当する欄に○														
上記の理由							上記の理由		秋田県では、目指せ健康寿命日本一と目標を掲げており、町独自の運動教室開催が求められている。																		
区分		R 5 決算		R 6 決算		R 7 予算		町民のニーズ		○ 反映している		○ 反映していない		該当する欄に○													
事業費の推移	歳入内訳	国支出金		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由		参加者アンケート等は実施していないが、参加者のレベルに合わせた指導を行っており、例年高い参加率を維持している。															
		県支出金		0 千円		0 千円		0 千円		コスト改善の余地		有		○ 無		該当する欄に○											
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円		上記の理由																	
		その他特定財源		22 千円		22 千円		25 千円		総合評価		○ A		○ B		○ C		○ D		○ E		該当する欄に○					
		一般財源		8 千円		3 千円		12 千円		評価説明		子どもたちの健やかな身体の育成や町民の健康増進のため、継続して事業を開催していけるよう努める。															
	歳出内訳	歳入合計		30 千円		25 千円		37 千円		学識経験者の意見等																	
		需用費		0 千円		0 千円		2 千円		施設の維持管理等環境づくりに努めるとともに、心身の豊かさをはぐくむスポーツ振興の一助となるよう、個々のレベルに応じた事業実施に取り組まれない。																	
		役務費		9 千円		4 千円		7 千円																			
		委託料		0 千円		0 千円		0 千円																			
		工事請負費		0 千円		0 千円		0 千円																			
その他		21 千円		21 千円		28 千円																					
歳出合計		30 千円		25 千円		37 千円																					